

豊栄地区公民館運営審議会 会議概要

令和6年度 第9期第4回豊栄地区公民館運営審議会		
開催日時	令和7年1月27日（月曜） 午後1時30分～午後3時20分	
会場	豊栄地区公民館 3階 大講堂	
出席者	委員	* 敬称略 石黒委員、梅津委員、神田委員、倉島委員、栗原委員、 土田委員、渡辺委員 (欠席 大原委員、玉井委員、マルシェフ委員) 計7人
	事務局	豊栄地区公民館
		北地区公民館
内容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 土田議長・渡辺館長</p> <p>3 議題</p> <p>(1)「令和6年度事業経過報告について」</p> <p>ア 豊栄地区公民館</p> <p>イ 北地区公民館</p> <p>「令和6年度 豊栄地区公民館 事業経過報告」及び、「令和6年度 北地区公民館 事業経過報告」に基づき、事務局から説明を行いました。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の中で、高齢者という言葉が非常に多く出てきており、これからどうする、どうしたらいいか、というのが結構あった。次世代の参加はどのような風にしていくのか、というのが一点。また、家庭教育支援事業でパパも参加したというのは、初めての子どもかどうか。</li> </ul> <p>(天尾)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆりかご学級では、2組の夫婦から申し込みがあった。どちらも第一子である。傾向から見ると、第一子のパパが多い。ほとんどの方は、育休中に参加している。</li> </ul> <p>(尾崎主任)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊栄地区公民館は、実行委員会が主体の事業がある。北区市民茶会、公民館まつり、それから民謡ながしである。その他、北区展は、運営委員会が主体である。そういった皆さんと一緒に協働してやっていく事業について、その組織をどういう風に活性化するか、が課題となっている。</li> </ul> <p>公民館活動協力員にも同じような話を共有しているが、協力員からも例えば、子ども会など、同じ人がずっと役員を担う傾向にある、とお聞きしている。まさに同様で、その方がいなくなったら次はどうするのか、ということになる。</p> <p>きちんと活性化を図る、世代をつなげていくような仕組みを作っていかなければならない、ということで、まずは会議の活性化をすることに取り組んでいる。</p>	

内 容	<p>例えば、スクール形式みたいな形で事務局が話をして終わり、その後、内容の共有は各団体内でなされたのかということ、横のつながりがないケースもある。</p> <p>一形態の会議形式にすると、意見が出づらいため、グループごとに分けて、時間を決めてこういうテーマについて意見ください、など双方向になるような会議の活性化から始めている。</p> <p>また、決まったことをホワイトボードに書いて、見える化していくことをやっている。</p> <p>また、民謡ながしでは実行委員が当て職であることから、実働部隊の編成が課題となっており、このため、実行委員会の中で承認いただき、委員会とは別に民謡ながしについて自由に意見交換をするフリーの検討会を立ち上げた。その後、検討した意見を、実行委員会の中に落としたりというようなことをやった。今は、フリートークの会は動いていないが、実行委員長が認める者、ということで、フリートークのメンバーから実行委員会に入っただき、今動き出しているところである。</p> <p>今後、2月か3月中に、さらに実行委員会の中からメンバーを集めて、検討チームを作る予定である。</p> <p>(梅津委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ご近所だんぎ」について、市民大学講座やアクティブシニア講座と統合したことで、今年度のご近所だんぎプラスがすごく充実しているなどと思った。参加者の年齢層、性別や固定化されていないかどうか、についてお聞きしたい。</li> </ul> <p>(五十嵐)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年代は、70代から80代である。「日報抄のおはなし」については、30代や40代の人も中にはいたと思う。</li> </ul> <p>(栗原委員)</p> <p>次回やるのは終活のようだが、年齢層が高い人が来るのではないか。</p> <p>(五十嵐)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容によっては若い方もポツポツという感じである。大体70代から80代ぐらいで、固定化もされているが、今年度は新たにご近所だんぎプラスとし、大学の先生や、新潟日報の論説編集委員の方に来ていただいた会は、初めて来ました、という方がわりといた。性別は、女性が多いと思うが、新聞の回は男性も半分ぐらいか、もしくは男性の方が多く感じであった。</li> </ul> <p>(土田議長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆりかご学級について、北地区ですと、定員12名のうち3名とか4名になってしまうが、北地区においては子どもの数が少ないのか。</li> </ul> <p>(岩本館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果的には、4名の参加で、講座が何回かありますと子どもが熱を出したなどで、3名になった回があった。子どもの数が多いかどうかという点については、地域の人口を踏まえて、ということでは対応していない。イメージでは、乳児期の子どもを対象とする親御さんは、少ないのではないか。</li> </ul> <p>(土田議長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれてからの講座もそうだが、生まれる前の段階でママたちが育休や産休の間に、1講座、2講座受講するきっかけがあると、またその方が来るとか。あと、生まれてから来る保健師さんに会って、保健師さんからこんな講座があるよ、とか宣伝があると、今後の参加につながるのではないか。</li> </ul> <p>(天尾)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師さんの事前の部分を含めて、チラシ等をお願いしているが、なかなか伸びないというのはあると思う。ゆりかご学級に関しては、北区では出生届を出しに来た方に「北区ゆりかご学級のご案内」の配布をお願いしているので、北区で生まれた方には届いている。それに加えて、安産教室は、健康福祉課だけで取り組んでいるが、来年度はその内容にプラスした形で、豊栄地区公民館でも少し視点</li> </ul>
-----	---

内 容	<p>を変えて、プレママプレパパ対象の講座を考えている。そして、講座に来てくれた方がゆりかご学級にスライドするという形もできるのではないかと思っている。</p> <p>(土田議長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシは、なかなか見る状態にはなれず、LINE や誰かの声がとても大事で、参加した方から拡散できる人をお願いする。声かけがあると、また次につながっていけるのではないか。今の時代において、SNS は大事ではないか。</li> </ul> <p>(渡邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の議論の中で、LINE でお友達になって、ちょっとプッシュ型で通知音というようところがすごくいいかなと思った。</li> </ul> <p>質問ではないが、北地区公民館、また豊栄地区公民館、新潟医療福祉大学を学生も教員も包括連携協定を結ばせていただいていることもあり、社会資源として様々な形で考えていただいている。一緒に活動をしていただけていることがすごくありがたいと思っている。学生が、自分の大学が所在している地域に貢献できるということが、医療と福祉を学ぶ学生にとってはすごく大きな経験になっていると思う。また、大学には 4,000 人を超える学生がおり、ポテンシャルもすごくあると思う。ぜひもっと広く一緒にさせていただけることがあればと思う。</p> <p>(土田議長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟医療福祉大学、本当にとても大事であり、いろんな事業にもっと関わっていけると思う。いろいろ複雑に、みんながこう絡まって、高齢の方や若い世代が地域でつながっていけるともっといい活動になるのではないか、と思った。</li> </ul> <p>(梅津委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育支援について、学校にボランティアをしている時に感じるのだが、子どもたちの大人たちに対する接し方や言葉使いで、疑問に感じることもある。自分が育った時代は、家庭では親が子どもに生活をしていくための知識や技能を教えてくれた。</li> </ul> <p>それが今はないのではないかと感じる人が多い。子どもたちが生きるうえで、様々な能力を高めていくためには、やはり、家庭が大事。何かことが起これば、学校へ不満を言ってくる親がいるが、反省してほしいと思う。結局、現在の親世代が家庭などでいろいろな経験を積んでこなかっただろうし、いろいろな人たちと繋がってこなかったからなのだろう。やはり、家庭教育は大事だと思うので、これからも力を入れてほしいし、できるだけたくさん受講者を集めてほしいと思う。</p> <p>(尾崎主任)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の 4 ページについて、先ほど担当から説明があったところだが、職員も広く受けていただきたいと思いがああり、いろいろ工夫し、こちらに記載の幼児期家庭教育学級を児童期の部分を含んだ形にしたり、単発でも参加できるように公開講座の回を設けた。</li> </ul> <p>また、保育の日を設定するなど、参加し易いようにいろいろと経験を重ねながら参加者が増えていってもらいたいなとやっているところである。</p> <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は地域も上手に子育てできるような気がしている。</li> </ul> <p>うちの納涼会にしろ、まつりにしろ、子どもにお菓子をあげたりする。その渡すときにありがとうと言わせる。必ずその親御さんが一緒に来ている前で、お菓子もらってありがとう、といいなさいという。子どもが走ったら、走ると危ないんだよ、ってうちから言ってあげると、親が見てる。そういう風に地域もやっぱりやっていかないと。今後やっぱり、「ありがとう」、とか、「こんにちは」とか、平日頃、その親にも言っていければと。昔、町内で小学校 6 年のわんぱく三人小僧がいて、その子たちが人の話を聞かない。笛、太鼓の練習をしてるうちにふざけてる。私はその子たちにゲンコツをくれた。その子が社会人になって、た</p>
-----	---

内 容	<p>またまばったりあった時にそのこと言われたが、あの時のゲンコツは本当にありがたかったって、人の話は聞くもんだと。</p> <p>そのとき親にはちゃんと謝りました。地域でも育てていかないと、学校だけの問題では、もう到底無理だと思う。先生が本当にかわいそうだと思う。昔は、私の頃なんか先生サマですからね。先生が絶対でしょ。</p> <p>町内の飲み会があると必ず、親に子どもに携われるのは小学校 6 年生までだと、必ず言っている。中学になるとクソ親父とか何か言われるから、だから 6 年間、生まれてからは 12 年間付き合えと言っている。もう口ほど休んでねえから遊ぶ。</p> <p>そういうのは、必ず残る。ゆりかご学級でも何でも職員の方も何か声をかけてあげる。またどこかで顔があったりすると、また話が出てくるってというのを非常に大事にしたいと思う。</p> <p>(石黒委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思っていることは皆さんと同じで、学校だけではないし、地域だけでもないし、親だけでもない。協働と、さっき出たが、これから本当にそれが必要な時代なのではないかと関係が希薄な分思う。それでも、いろんな学校で勤めてきて、この豊栄はそういう繋がりがすごくある地域だなと。それはやっぱり大事にしていきたいし、してほしいなと思いました。それで、先ほどの報告を聞いて、小学生中心に子どもたちが結構参加していることを感じて嬉しく思った。</li> </ul> <p>大学生に 1 から考えてもらってということで、その子どもたちの経験が、今の大学生には少ないと思うので、それが子どもと大学生も喜びになる。また、子どもたちの身近なお父さん、お母さん世代といった若手も関わる工夫もあった。いろんな課題はあるが、現実的に北区は、もうすでに 15 歳未満はすごく減っているんです。</p> <p>そうすると親御さんの世代も少なくなってくる。つまり高齢化と少子化だけではなく、人口が減っているということであり、今の中学校 3 年生の子たちに対して 100 とすると、もう 15 年後には北区は 54%、簡単に言えば今の子どもたちの半分になってしまうということは、新潟市の他の区も含めて、それは既に分かっていることなので、そうすると行政の組織再編であるとか、いろんなことが進んでいく中で、ではどういうニーズを求めている人たちに対して気軽に来れる公民館を作るかというのが今後の課題かな、と思って聞かせてもらった。世代交流も大事だし、先ほどの高齢者をターゲットにするのと、子育てをターゲットにするのと、うまく工夫しながら誰でも気軽に来れる公民館をこれから目指してほしいと思う。</p> <p>(神田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一言お礼を申し上げたくて、本当にこういう貴重な委員会に参加、数年でも参加できたことはとてもありがたいことだとすごく感じている。先ほど栗原委員もおっしゃったが、小さい子どもたちに対して周りの関わる方の声掛け、親御さんも本当に今いろんな親御さんがいるが、その子どもは意外と親じゃなくても、その関わる方に何か話しかけられたり、何か教えていただくこと、真剣に真面目に怒っていただくことってその子はすごく覚えていると思う。大きくなってもし幼い頃感じた事っていうのは必ずその子も覚えていると思うので、周りの方々が少しでも気になったり、何か伝えたいことを子どもたちにも伝えていく、教えていく、話をしていくってことは、すごく大事だなっていうのをすごく感じた。</li> </ul> <p>(倉島副議長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私もこんな貴重な機会ありがたいなと思ってずっと話を伺っていた。仕事柄、ある実行委員会の方からのお話を伺うことがあったが、松浜はご存知の通り、人の繋がりがすごく濃い地域で、ござれや花火の実行委員会は割と若手の方が多くいて、珍しいなあと思って聞いていると、子どもたちが、どうして実行委員をやっているんですか、と質問をした時に、先輩たちがやっているのを見てかっこいい</li> </ul>
-----	---

内 容

と思ったから、と言ったんです。そのやってる人たちが楽しんでいる、すごく一生懸命やっている姿が楽しそうに見えるので、私もやってみたくて参加しました、と。話を聞いていると本当に大変で、花火が終わると1週間ぐらい抜け殻のようになっている、と言っていたが、ものすごく会議を重ね緻密に連絡を取り合いやっている。みんなが花火を見ている時、自分たちは花火を見ているどころではなく、時間が押してないか、事故が起きてないか、怪我してる人はいないかとか。でもみんなが喜んで見ているのを見てすごく嬉しくなって、終わると抜け殻になっていると。実行委員会だからやらなきゃダメだ、ということではなく、自分たちも楽しんでやったね、という達成感のようなものがあるような組織になると、若い人もじゃあ俺もやってみようかなとか、私も参加してみようかな、と思うのかなとこの前話を聞いて思った。今子どもたちにそういう話をしてくれることが、誰か一人でも二人でも刺さって、自分たちが大きくなった時に、あの時来てくれた人がすごくかっこよかったから、俺も大きくなったらやってみたくて、っていうふうに思ってもらえるといいなと。この公民館の活動もそうだが、本当に人数が少ないからやらないとか、人が集まらないからやらないではなくて、一人でも二人でもその人が育って行って、この先の未来につながるような形になっていければいいと感じる。また、いつも審議会の資料を見て思うが、北地区公民館さんがすごく頑張っているが、大変そうである。豊栄地区の方からもう少し助けてあげるとか、豊栄地区の活動と同じものをオンラインでやるとか。同じものをそのまま北地区で開催するなど、北地区の方ももう少し活性化というか、南浜地区、濁川地区も含めて、格差が出て来ている感じがする。オンラインも繋がらないとか、wi-fiが飛んでないところから始まり、どんどん差が開いていくようで、とても悲しく感じている。何かもう少し工夫ができて北区内で同じようにいろんなサービスが受ければありがたいなと思う。

(土田議長)

- ・私も松浜とか関わらせていただき思うが、豊栄に行くのは車で30分かかり、濁川からも15分かかる。子育て世代や、おじいちゃん、おばあちゃん世代は、なかなか来れないので、できたらいいものを同じでもいいし、できたら加勢するだけでも、バックアップ的なものがどこかでつながり、定期的にやっていただくと、種まきできる状態にして、先を見据えて、もしかしたら15年後かもしれないが、その赤ちゃんから育てお母さんから語り継いでいるかもしれないし、小学校で育て大人になって、繋がっていくのではと思った。

(梅津委員)

- ・「有情のまちの中学生ガイド養成」について、今回中止したとあるが、その理由が中学生ガイドの参加希望者少数のため中止となっており、どの程度中学生が集まれば実施できるのか。

(岩本館長)

- ・人数でというのは、なかなか難しいところである。6月からその10月の間に座学で10回ほど地元の方に教えていただくが、それも部活動とか授業が終わった後でやるため、時間がちょっとかかるという部分がある。前の年は、十数人いた。一般の人にツアーの募集かけたところ、20人ぐらい応募があり、大勢で危ないため、2班に分けた。中学生がそれぞれ5、6人付いた。そこから言うと同じように、二桁に行けば十分事業としては成り立つと思う。

(梅津委員)

- ・前に初めて審議会に出席した時に、こういう事業があるんだとすごい感動した。だから、これは絶対に残してほしいと思う。

(倉島副議長)

- ・私は小学校のコーディネーターなので、中学校のこれはコーディネーターとして関わるというよりはガイドしてもらおう側として、2回か3回参加させていただいて、そうするとこんな小さい頃から見てた子が、こんな大きくなって制服着てき

内 容	<p>ちんとした敬語で喋ってるってだけで感動するという、お前たち大きくなったねみたいなの。なんかおばあちゃんが孫を見るみたいな目で見ていたが、私も今年中止と聞いて正直すごいびっくりして、すごく残念に思った。3人でも4人でもいれば何とかなるんじゃないのかなってというのは、内情を知らない私としては思った。</p> <p>一人二人では、さすがにきついが、4人か5人いればなんとかなるのではないかと正直思ったが、今回の中学生は希望がなかったかと。</p> <p>もともと生徒会役員が主体で声かけをして、生徒会役員プラス希望者という形で、多い時は20人以上いた時もあったように思う。</p> <p>今年の生徒会役員はあんまりやらなかったのかな、学校側からもうちょっとプッシュするとか、1本釣りするとかできなかったのかなと思って。その中止しているのは私もすごく残念に思った。</p> <p>せっかくここまで続けてきたのにというのがあったので、来年度復活できるというと思うが、小学校6年生に仕込んでおこうか、とか思ったり、6年生にやったらとか言ってみようか、とか。</p> <p>確かに中学生にとって大変なんだと思う。部活とテストといろんなものの合間を縫って座学をやり、練習し、さらにガイド練習に回ったり。松浜市に行こうとすると市の日を拾わなといけないので、やる日も限られて、そこがたとえ雨だろうが何だろうが、市があるからやるってなると本当に大雨の時に参加したこともあった。</p> <p>この中行くのみたいな時もあったが、色々制約があって難しいと思うが、なるべくなら頑張っていてほしいなど。ちょっとそこに小学生が入るのは難しいが、せっかく中学校との連携としてやっているものなので、なんとか4月以降いい方法がないかなと思う。</p> <p>(岩本館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日のツアーと一緒に回ったが、今の中学生は、タブレットに話す原稿があり、タブレットを持って説明するが、座学の勉強をしたうえで、10月に入ってから、ツアーを回る1、2週間前に実際に現地に行ってみるという、プレで回って当日を迎えるが、すごくいいなと正直思う。中学生のアンケートでは、地域に対してすごい気持ちを持っていることが伝わってくる感じがあった。できれば私も続けて欲しかったが、今年度は2人だけということで、実施することは難しいとの判断をさせていただいた。</li> </ul> <p>本当にできるものであれば、来年度に向けて学校や地域教育コーディネーターの方とちょっとお話する機会があればありがたいと思う。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 公民館に関する情報共有・意見交換</p> <p>資料「公運審一本化に対する意見聴取(報告書)R6.7」、「令和7年度新潟市公民館運営審議会の一歩化について(案)」及び「新潟市公民館事業の基本方針(案)」に基づき、事務局から説明を行いました。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>なし</p> <p>(2) その他</p> <p>公民館の各種PRチラシなどについて事務局から、説明を行いました。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>なし</p> <p>5 閉会</p>
-----	---

傍聴者	0人
会議資料等	<p>第9期第4回 豊栄地区公民館運営審議会 次第</p> <p>令和6年度 豊栄地区公民館 事業経過報告</p> <p>令和6年度 北地区公民館 事業経過報告</p> <p>別冊参考資料（豊栄地区公民館と北地区公民館分 PR チラシ等）</p> <p>公運審一本化に対する意見聴取（報告書）R6.7</p> <p>令和7年度 新潟市公民館運営審議会の一本化について（案）</p> <p>新潟市公民館事業の基本方針（案）</p>